科目名	高齢者看護学特講Ⅰ	分野・必選別・単位数	専門科目（高齢者看護学）	選択必修	2単位

担当教員	◎教授　上野公子					科目ナンバー	T2C125
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	前期	授業方法	講義

授業の概要	高齢社会の理解と高齢社会における看護実践のための理論や概念に関する理解を深め、看護ケアに活用する際の課題について学び、高齢者看護に必要な知識基盤を培う。また、高齢者や家族が自らの価値観や信念に基づいた健康的な生活が送れるよう、包括的アセスメント能力を養う。
授業の到達目標	1. 老化の過程と健康に関する理論について説明できる。 2. 高齢者の健康生活アセスメント方法について説明できる。 3. 高齢者ケアに関するアセスメントの現状と課題について自分の考えを述べる。

授業計画

回数	担当者	行動目標
1	上野　公子　教　授	講義の進め方について伝達できる。
2	上野　公子　教　授	高齢社会における生活環境の変化について説明できる。
3	上野　公子　教　授	高齢社会における健康課題の変化について説明できる。
4	上野　公子　教　授	心身の老化過程と高齢者の発達・健康に関する理論について説明できる。
5	上野　公子　教　授	心身の老化過程と高齢者の発達・健康に関する理論について説明できる。
6	上野　公子　教　授	心身の老化過程と高齢者の発達・健康に関する理論について説明できる。
7	上野　公子　教　授	心身の老化過程と高齢者の発達・健康に関する理論について説明できる。
8	上野　公子　教　授	心身の老化過程と高齢者の発達・健康に関する理論について説明できる。
9	上野　公子　教　授	高齢者の健康生活とアセスメントについて説明できる。
10	上野　公子　教　授	高齢者の健康生活とアセスメントについて説明できる。
11	上野　公子　教　授	高齢者の健康生活とアセスメントについて説明できる。
12	上野　公子　教　授	事例を用いたアセスメントの現状と課題について検討できる。
13	上野　公子　教　授	事例を用いたアセスメントの現状と課題について検討できる。
14	上野　公子　教　授	事例を用いたアセスメントの現状と課題について検討できる。
15	上野　公子　教　授	授業を振り返り、課題レポートを作成し提出できる。

事前事後学修の内容およびそれに必要な時間		
	【事前学修】	次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、参考書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。

教科書	特に定めない。
参考書	特に定めない。講義の中で適宜紹介する。
成績評価の方法および基準	資料作成30%、プレゼンテーション及びディスカッション30%、課題レポート40%として評価する。
その他履修上の注意事項	担当教員と積極的にコンタクトをとり、授業への主体的な参加を希望する。 課題レポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP2が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。